

## 第1章 沼津市パークマネジメントプランとは

## 1-1. 策定の背景

今日、公園緑地を取り巻く情勢は大きく変化しており、より効果的、効率的な維持管理・運営管理が求められる一方で、市民ニーズの多様化、高度化への対応が必要となっています。

沼津市（以下「本市」という。）においても、首都圏や周辺市町への転出超過による人口減少が続き、定住人口の確保と交流人口の拡大のため、子育てしやすい環境づくりや都市の魅力向上に寄与する公園緑地のあり方が求められています。しかしながら、限られた財源の中で、新しい公園緑地の整備や充実した維持管理・運営管理などの対応が十分に行き届かない状況となっています。

このような状況を背景に、今後これまでと同様な行政主体での維持管理・運営管理を継続していただければ、地域や公園緑地ごとの多様な市民ニーズに応えていくことは難しく、良好な景観形成や防災性の向上の効果など、公園緑地が本来有する機能や魅力を十分に発揮することができなくなることが懸念されます。

また、民間活力を最大限に生かして、緑・オープンスペースの整備・保全を効果的に推進し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため、平成29年に都市緑地法等が改正され、公園をより柔軟に活用した新たな事業展開が可能な状況になっています。

そこで、これからは行政だけではなく、市民、事業者、地域コミュニティなど、様々な主体の参加・連携により、新たな発想で取り組んでいくことが必要となっています。



## 1-2. 『パークマネジメント』とは

一般に「マネジメント」とは、「経営管理」と訳され、人・資金・時間などを最も効果的に使い、組織を維持・発展させることです。それを踏まえ、『パークマネジメント』は「各公園の理念、基本計画、基本方針に則り、顧客である市民の利益を増進することを念頭に、管理運営の目標を明確にし、管理運営のあり方を戦略的に企画し、諸条件を踏まえた管理運営計画を立て、それを効果的、効率的に実践するとともに、実施成果を計画目標と比較・分析し、必要な軌道修正や対策を図ること」（出典：「公園管理ガイドブック」（一般財団法人 公園財団））と定義されています。

「沼津市パークマネジメントプラン（以下「本プラン」という。）」では、『パークマネジメント』における主な取り組みを公園緑地の「維持管理・運営管理」と捉え、清掃や除草等の「維持管理」の促進により良好な公園緑地環境を創出するとともに、お祭りやイベント等の「運営管理」の促進により公園緑地の活性化につながる取り組みと位置づけます。

### 1-3. 『パークマネジメント』の必要性

公園緑地は、その存在により、都市環境の改善、自然環境の保全、良好な景観形成、都市防災など都市環境の向上に寄与する機能を有しています。様々な主体がそれらを積極的に維持管理・運営管理を行うことで、今まで以上に効果を発揮することが可能となります。

本市においては、少子高齢化社会に重要な地域コミュニティ形成の場、高齢者に対する健康づくりの場、子育てしやすい環境づくりの場、交流人口拡大につながる集客イベント実施の場としての機能を発揮し、都市が有する課題を広く解決できるようにパークマネジメントに取り組むことが、都市の魅力向上させる上で非常に重要となります。

また、これまでの行政主体の維持管理・運営管理から市民、事業者、地域コミュニティなど、様々な主体が参加・連携することにより、地域の課題を解決するための公園緑地利活用の可能性が広がります。

本プランは、市民の皆さんにこれまで以上に本市の公園緑地を身近に感じ、使いこなしていただくことで、本市がより暮らしやすく魅力的な都市になることを目指すものです。

本プランでは、その実現につながる展開方針や体制づくりなど、柔軟な公園緑地の維持管理・運営管理のあり方をまとめます。

また、別編の「公園別プラン作成マニュアル」では、地域の特性やニーズ、各公園緑地の特性に応じた公園別プランを市民、事業者、行政が連携して作成するための手順を示し、公園緑地を地域の皆さん自身が使いこなしていくための具体的な活動へつなげることを目指しています。



公園緑地でのイベント開催



地域住民や企業による公園緑地における清掃活動



### 1-4. 位置づけ

本プランは、本市の上位計画に即し、主な関連計画との整合や連携を図りながら取り組んでいくものとします。

本プランでは、市民の皆さんが公園緑地をより柔軟に使っていくための方針や具体的な取り組み等をまとめておりますが、公園緑地ごとに抱えている課題や実現していきたい取り組み内容は異なるため、本プランに基づき公園別プランを展開していきます。なお、公園別プランでは各公園緑地の将来像を定め、ハード・ソフト両面からの取り組み内容などについて、地域の皆さんと考えていきます。

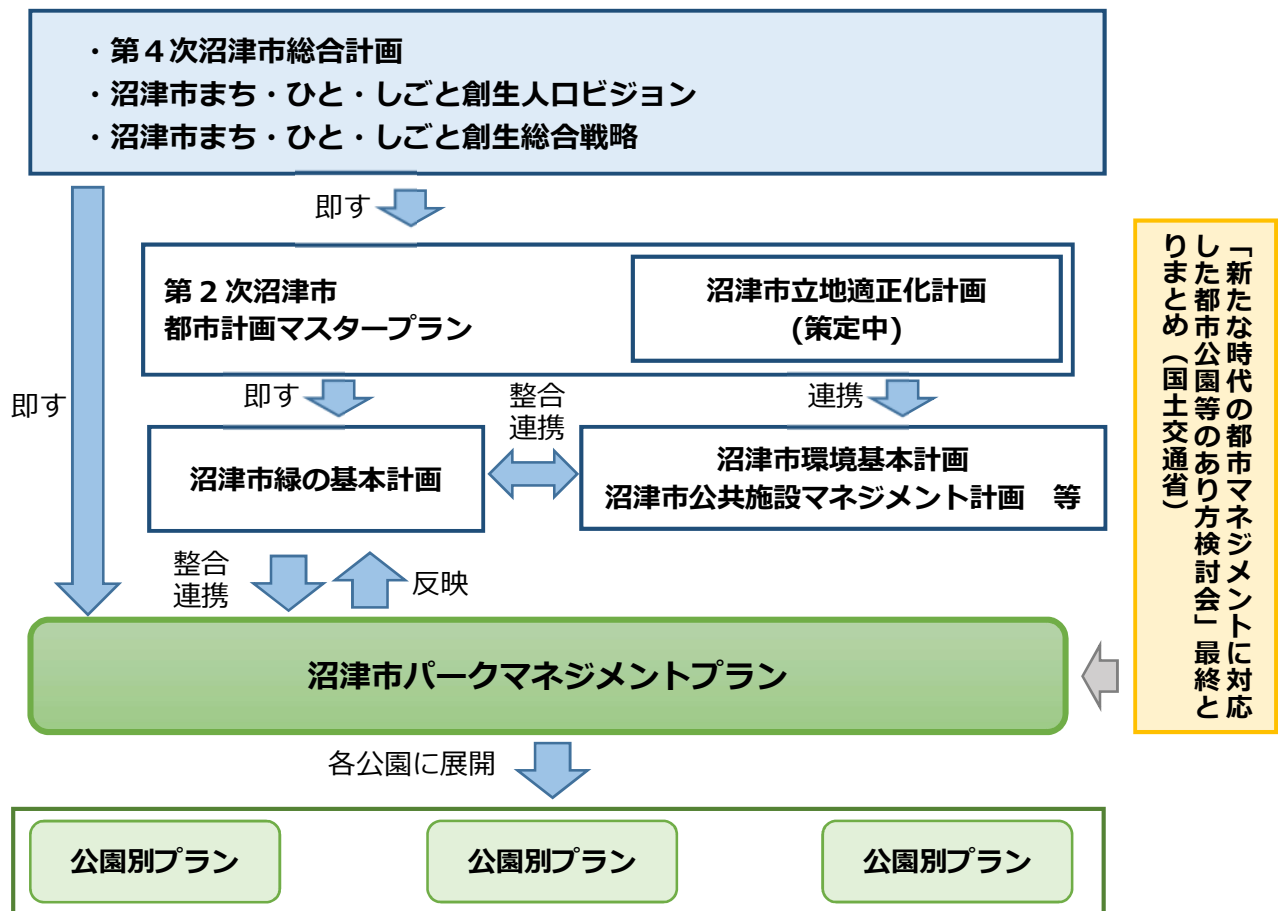
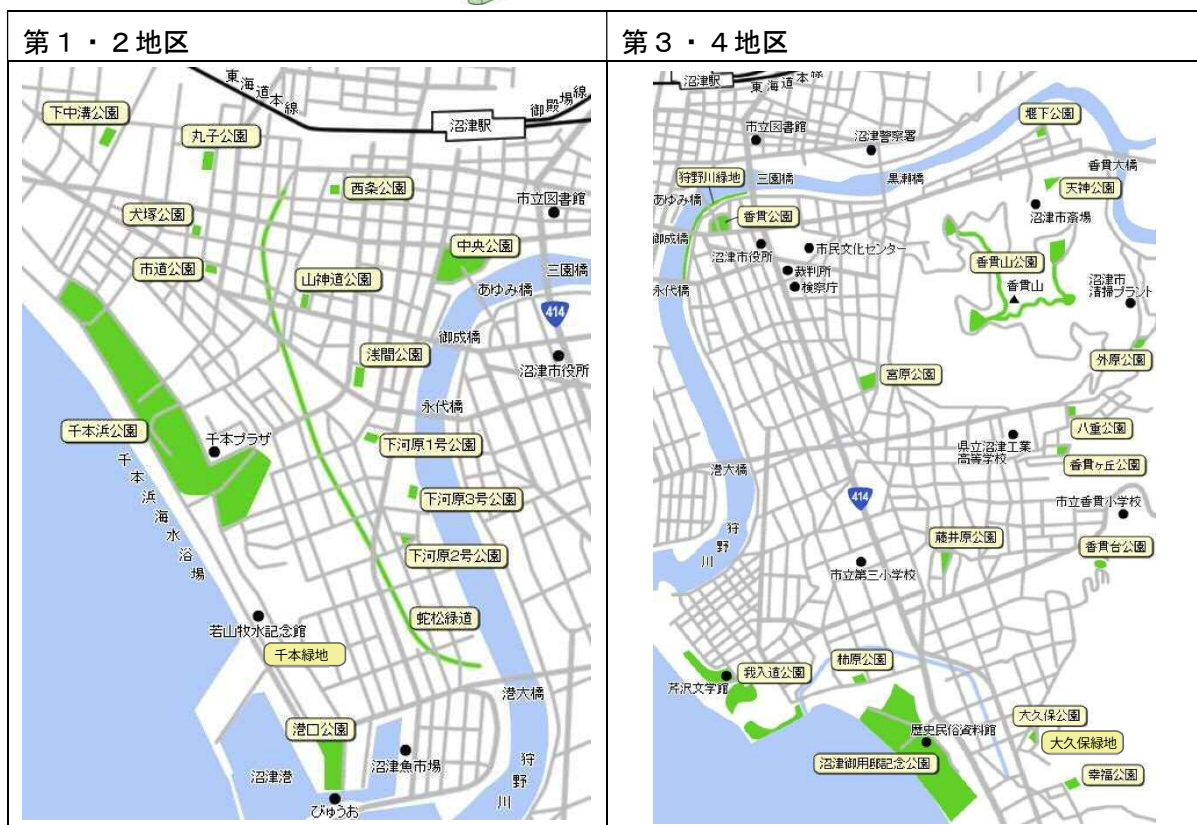
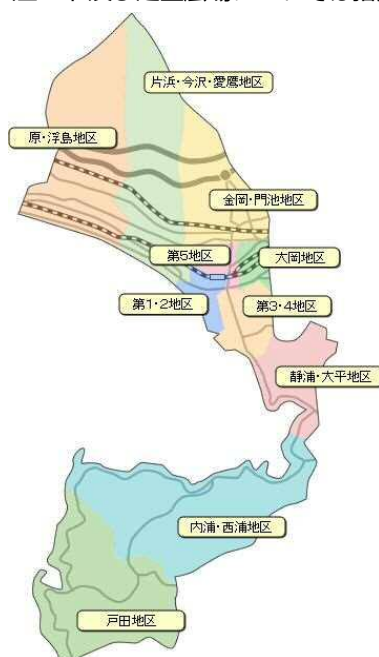


図 沼津市パークマネジメントプランの位置づけ

## 1-5. 対象

本プランは、本市が管理する公園緑地の計 151 箇所（都市計画公園等 63 箇所、その他の開設済み都市公園 85 箇所、都市公園以外の公園 3 箇所）を対象としています。151 箇所のうち 2 箇所（沼津御用邸記念公園、愛鷹運動公園※）については指定管理者制度を導入しています。※愛鷹運動公園のうち、テニスコート及び芝生広場については指定管理者制度を導入



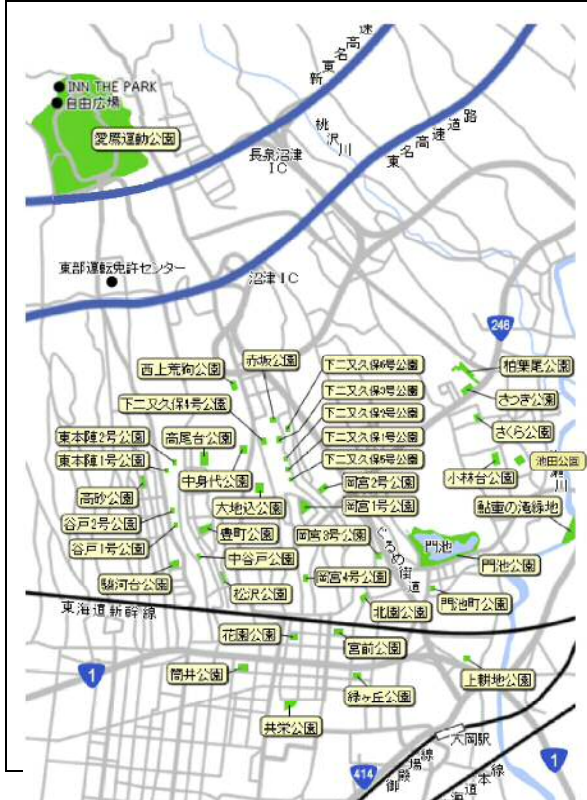
第5地区



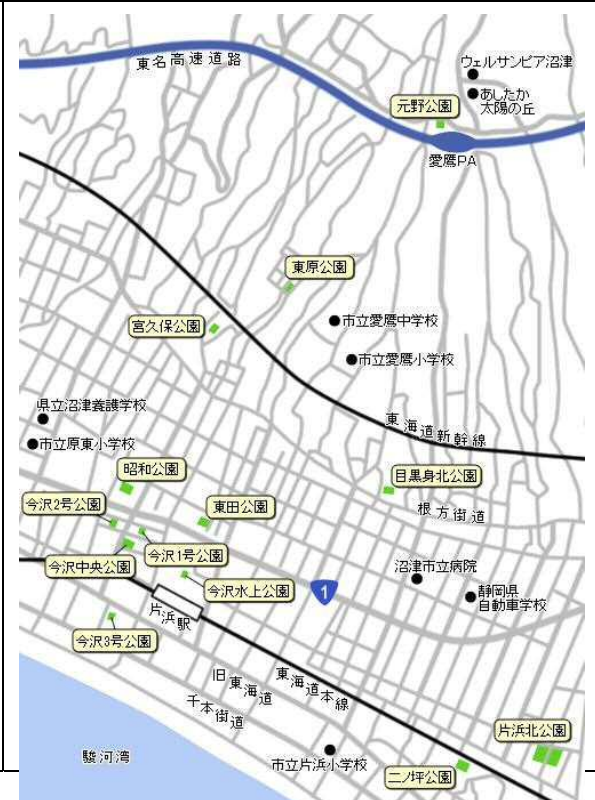
大岡地区



金岡・門池地区



片浜・今沢・愛鷹地区



原・浮島地区	静浦・大平地区
 <p>This map shows the Hara-Uzumaki area with various parks highlighted in green. Key locations include Akaike Park (赤池公園), Nishio Park (西沖公園), and several smaller parks like Utsunomiya Park (鳥沢公園) and Utsunomiya No. 2 Park (西添2号公園). Major roads like the Tokaido Expressway and Tokaido Main Line are also shown.</p>	 <p>This map shows the Shizuppu-Ohira area. It features Nishio Park (梨ノ木公園) and Ohira Park (大平公園). Other landmarks include Shizuppu Fishery Port (静浦漁港) and the Sagami Bay (江浦湾). Schools like Shizuppu Elementary and Ohira Elementary are also marked.</p>
 <p>This map shows the Uda area, primarily along the Sagami Bay (駿河湾). It highlights Uda Park (大川公園) and Uda Children's Park (緒明児童公園). Cultural sites like the Sagami Prefectural Museum of Earth and Planetary Science (道庁郷土資料博物館) and Sagami Bay Marine Museum (駿河湾海洋生物館) are also shown.</p>	<p>※その他地図に記載のない公園                  西浦地区：大瀬緑地                  (大瀬崎南の主要地方道沼津土肥線沿いに立地)</p>

## 1-6. 策定までのプロセス

本プランの策定にあたっては、有識者で構成する「沼津市パークマネジメントプラン有識者検討委員会（以下「検討委員会」という。）に諮るとともに、公園緑地利活用者を対象としたワークショップを開催し、市民意向の収集・反映を行いました。

表 沼津市パークマネジメントプラン策定のこれまでの経緯

年 月 日	内容（●：市民を交えた検討 ▲：有識者による検討 ■：その他）
H28. 5. 24～ 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公園に関する利用動向調査、公園利用者数調査（市内6公園）</li> <li>■子育て世代を対象とした公園に関するアンケート（市内5子育て支援センター等）</li> <li>■都市公園愛護会活動についてのアンケート（市内45公園愛護会）</li> </ul>
H28. 12. 12 H29. 1. 16 2. 13	<p>●中央公園利活用者を対象としたワークショップ</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわい創出を目指した、民間の積極的な利活用・管理運営について</li> <li>・民間が参入しやすい仕組みについて</li> <li>・民間の力が効果的だと考えられる沼津市の公園について</li> </ul>
H28. 12. 4 H29. 1. 22 2. 19	<p>●高沢公園利活用者を対象としたワークショップ</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な世代が利用したくなる、明るく楽しい公園についての課題とアイデアの抽出</li> <li>・高沢公園の再整備の方針検討、公園における今後の取り組みに向けたきっかけづくり</li> </ul>
H28. 11. 29 12. 20 H29. 1. 17	<p>●豊町公園利活用者を対象としたワークショップ</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域住民の責任において自由に活用できる公園」の模範公園として、その成功のポイントや背景を整理し、他の公園に展開するための方策を探る</li> </ul>
H29. 10. 26	<p>▲第1回検討委員会</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>合同会社デザイン・アープ 代表社員 川口 良子（専門分野：都市計画・地域づくり等） 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授 金子 忠一（専門分野：都市緑地計画・ランドスケープマネジメント等） 株式会社 GEN プランニング 代表取締役 奥村 玄（専門分野：地域計画・市民参加等）</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本プランの目的と構成」「基本方針と公園緑地運営の3つの視点」「展開に向けた課題と展開方針」「パークマネジメントプラン展開のための組織」の各項目について検討</li> </ul>
H29. 12. 20	<p>▲第2回検討委員会</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「展開方針」「推進方策」「取り組みの進行管理」「公園別プラン策定マニュアル」の各項目について検討</li> </ul>
H30. 2. 16～ 3. 19	<p>●パブリックコメント</p>
H30. 2. 27	<p>●沼津市パークマネジメントプラン（案）市民説明会</p>
H30. 3. 27	<p>▲第3回検討委員会</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市パークマネジメントプラン最終案、次年度以降の展開について検討</li> </ul>